

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

FURUNO GLOBAL VISION"NAVI NEXT 2030"。安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現を目指す

売上高
1,500億円営業利益率
10%以上ROE及びROIC
10%以上総還元性向
40%相当

② 中長期の経営戦略

1. 収益性の確保

粗利率改善、販管費の効率化、業務プロセス再構築。ROICを重視した事業ポートフォリオ経営で資本効率向上

3. サステナブル経営強化

人的資本経営推進、DX人材・グローバル人材採用強化。スマート工場プロジェクト推進、ROIC経営による経営管理高度化

2. 売上規模の拡大

船用事業では換装シェア拡大と保守メンテナンスのグローバル展開。産業用事業では時刻同期事業と防衛装備品事業を強化

4. 船用事業戦略

商船向けは換装シェア拡大、漁業向けは「勘と経験の見える化」、プレジャーボート向けは販路拡大、ワークボート向けは官公庁船機器開発

③ 対処すべき課題

① 事業を通じた社会課題解決

- ・海運業・水産業の人手不足深刻化と水産資源量減少への対応
- ・「ライフサイクルサポート」戦略と自律航行技術で安全性向上
- ・防衛装備品事業で交通・通信インフラ安定化に貢献

② 技術進化による成長基盤構築

- ・自律航行技術を中心とする研究開発推進
- ・リモートサービス拡充とスマート漁業ソリューション提供
- ・無形資産活用で新規事業領域拡大と競争優位性強化

③ 地球環境保全と人材活躍

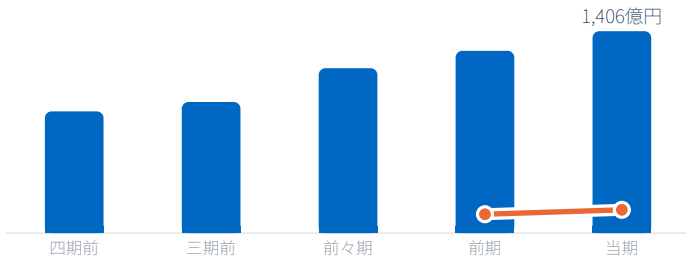
- ・GHG排出削減推進、気候変動対応とTCFD提言準拠
- ・生物多様性保全と海洋環境保護による自然共生
- ・多様性尊重し全従業員が能力発揮できる職場環境整備

面接で使えるポイント

- ・海外売上比率7割超、世界100カ国以上に拠点展開する「世界のフルノ」の実現を目指す企業
- ・自律航行技術や船用DXで海運・漁業の社会課題解決に貢献する事業展開
- ・2029年2月期に売上高1,500億円、営業利益率10%以上達成目指し持続的成長を推進

証券コード 6814

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,406億円営業利益率
11.6%財務健康度
72点 / 100点

要するに

1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功した船舶機器メーカー

主力事業・セグメント

- ・水産 86.4%
- ・産業 11.3%
- ・WirelessLAN・Hand 2.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,406億円の事業規模
- ・営業利益率11.6%の安定した収益性
- ・財務健康度72点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 61.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
752万円

電気機器内 84位/225社

平均年齢
44.7歳

電気機器内 65位/225社

平均勤続
15.2年

電気機器内 133位/225社

女性管理職
6.1%

電気機器内 74位/182社

男性育休
71.7%

電気機器内 113位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: デュアルバンドGNSS基準周波数発生器「GF-100シリーズ」

